【授業科目】老年看護学演習Ⅱ（老年看護学の研究方法）　Advanced Seminar of Gerontological Nursing Ⅱ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
三好 陽子	１年次 後　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	老年看護学に関する修士論文作成に向けて、文献を批判的思考により検討する能力を身につける。 文献検討においては、研究テーマ、研究の問い、研究デザイン、研究方法等について分析し、老年看護学の研究方法の特徴について理解を深め、自己の研究課題を明確化する。 形式は演習によりレポートを作成し、学生のプレゼンテーションを取り入れる。 授業は、実務家教員（三好）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法/プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①老年看護学における研究の動向と課題について、自己の見解を述べることができる。 ②老年看護学に関する量的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ③老年看護学に関する質的研究の特徴についてレポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。 ④老年看護学に関する文献検討を行い、その結果をプレゼンテーションすることができる。 ⑤老年看護学における研究方法の特徴をふまえて、自己の研究課題を明確化することができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	紹介した文献や配布資料は、よく読んで、授業内容の理解や授業での意見交換に生かす（２時間）。 課題に関しては、自らも文献検索・検討を行いプレゼンテーションやレポート作成に生かす（２時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	1～2　老年看護学における研究の動向と課題 3～5　老年看護に関する量的研究 6～8　老年看護に関する質的研究 9～11　老年看護に関する研究の特徴：プレゼンテーション 12～14　老年看護に関する研究の文献検討（１）：量的研究の論文紹介と検討 15～17　老年看護に関する研究の文献検討（２）：質的研究の論文紹介と検討 18～20　老年看護に関する研究の文献検討（３）：プレゼンテーション 21～29　老年看護学の研究方法：自己の研究課題に関する文献レビュー プレゼンテーション・ディスカッション 自己の研究課題の明確化 30　まとめ 全て 三好
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション（４０％）、レポート（６０％）などによって総合的に評価する。
教科書	なし　　参考書等：配付資料 参考文献についてはその都度提示する。